

2011年7月13日 愛隣館みなさんとの研修会

**愛隣館のみなさんと考えていきたいこと**  
~歩行でないと行動に困るから~

いちおー生活支援みたい  
なことやってます

有限公司しえあーど  
NPO法人地域生活を考えよーかい  
李 国本 修慈

1. なんとなく私のことについて
2. 私がやってきたこと、思ったことなどなど
3. 今、これから(も)考えて行きたいこと
4. その他なんなりと・・・

今夜の話題・テーマはなんにしましょう??

**地域活性化** **全ての方の存在価値**

はなたラジ  
「労働」としての「はなたラジ」  
とりあえず  
なすがままに考えましょう

なんとなしに私のことについて

**1965年メーテー生まれ**

ながら、芽が出ず、  
現在に至る...

**大阪府西淀川区出身**

ほし古元  
ほし田元  
どかか手球も、  
つか手球も、  
うつたり

自分で、  
スーパー少年

なので?か、  
くだらない駄洒落も少なく無い

選挙権も無いよん

なんで運転手で、  
なんで看護学校な  
んかというと...

**在野派人間**

日本語は淀川で市長がしゃべっています

高校卒業後にタンクローリーの運転手とか、  
某市医師会の准看護学校や  
県立の看護学校に通ってました

分裂病とか

私がやってきたこと、思ったことなどなど

看護学校に通いながら通った「重山放送」に衝撃...  
精神科医療にまぶつ飛ばされる...

違和感、幻滅感  
せんせんの無力感  
で、あほらしくなって止めちゃう...

そこで出会った人とか...  
海の生きものさんたちとか...'

で、90年代後半に...

いろんなものが見えてきた...

自立障害者とか  
療育等支援事業とか  
国立療育研究所とか...  
社会福祉施設者派遣とか...  
何より、  
草の根として活動している  
方々に驚き、感動するか...。

2000年9月に『地域共生スペースふりば』オープン

兵庫県尼崎市南武庫之荘というところに

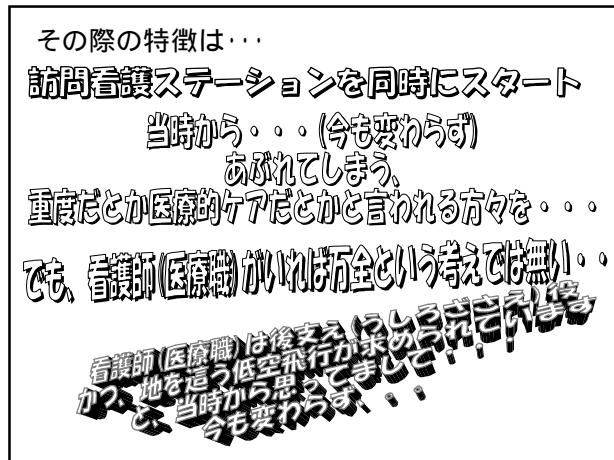
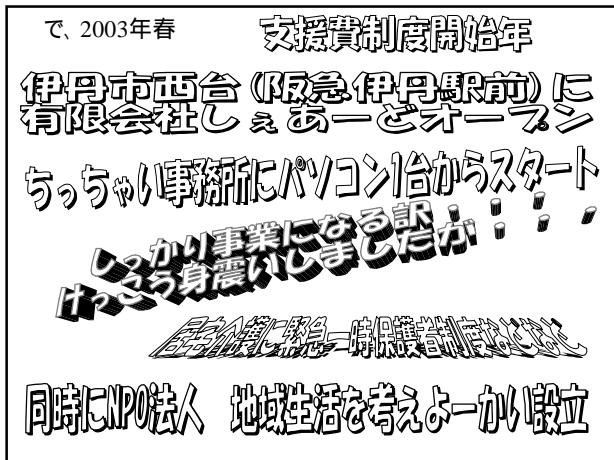
阪神間のへそ  
在日朝鮮人の居住地

2年ほどで利用者数  
300名っ!!

時間1000円でなんでもしましょう  
レスバイト 本人支度

あっという間のニースの鎮座化

ガイドヘルプ  
全身性介護費人派遣制度  
高齢一時帰宅費制度  
他人介護料助成制度



訪問看護 その際に…

かんたん!  
じゃないけれど…

大変?看護師さんを雇うのは??

医療モデル的なモノの見方を変えるほうが大変  
と言うか、そこ(それ)が大切…。  
今も思う、「医療の部分」に入るのではなく、  
その人に寄り寄るという感じ

暮らしへの場に関わるも…。  
おもしろいように関わる人々…。

そこに向かわすと本人さんたちの「力・はたらき」

で、半年後には

伊丹市湯池(伊丹市の北のはずれ)に移転  
いちらおー私の暮らす街で、。

マンション1室(2LDK)を借りての拠点作り  
宿泊と入浴

もぐらさんの24時間体制で  
とにかく毎日通う  
共に遊ぶ、共に楽しむ、  
そこから(こそ)生まれる関係性

特にお風呂は大切なのだ(特論)

その翌年(2002年春)には

CB高齢元気医療事業  
賞し店舗を活動拠点に追加

ワースペースとして開



とにかく増え続ける需要の中で…

みんなとも足りない社会資源  
その根原は??

お勝りのところが離れない限りは!!

とても悲しいこととして…  
変わらいく人にねがい喰などとか  
最も必要な「力」を感じながらもしないこと、とか

たいしたことではなく、  
あたりまえのことなんだけど、の

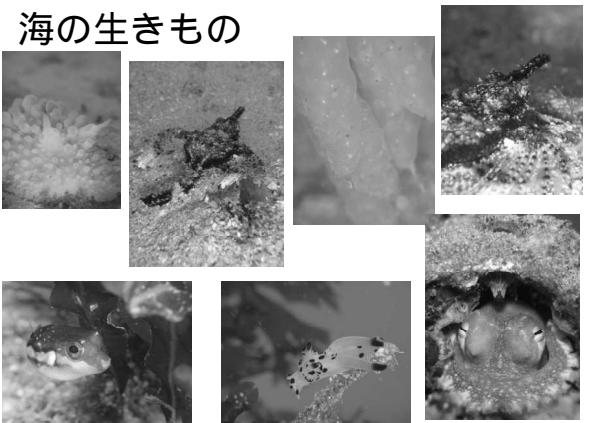
行き場の無い方々への支援  
というよりも、そんな方たちと共に住りたい気持ち

懸命に生きる最中で  
変わり行く社会にきちんと張り沿うこと

家人(主にはおかーちゃん)が倒れた際、  
あるいは亡くなられた際の私たちの立つ位置は…。

こんなことをな  
「暮らし」をなす  
特別なとかか  
「死」にななつてる社会を…。

海の生きもの



で、私たちの活動 と言うか、ほとんど道楽。°



利用者みなさんで  
170数名、、なんと  
なく重度な方ばかり  
りのようなイメージがあるかも?ですが、障害の程度だ  
とか有無だとかはあんまり関係なく楽しんでます。

彼女も壮絶な…



みんなほんとに  
嬉しいです



彼らも…



みんなの「うるさい」  
彼女「うるさい」…



引き寄せられる私たち…

それぞれのストーリーがあたりまえにあったりでして



ものの見事に  
地域移行を果たした彼!!

2011年鶴山町田目界駅前で選手権前に

彼も楽しく…決して良い暮らしさではないけれど



毎日こんな感じで寝てます

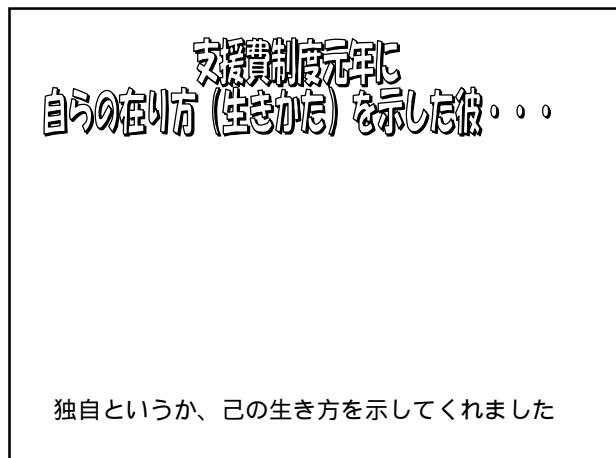
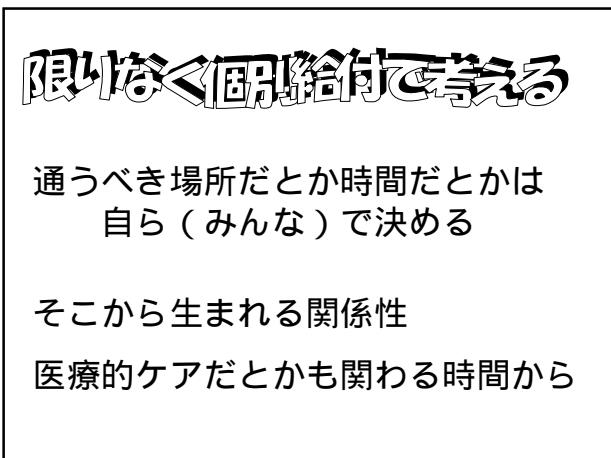
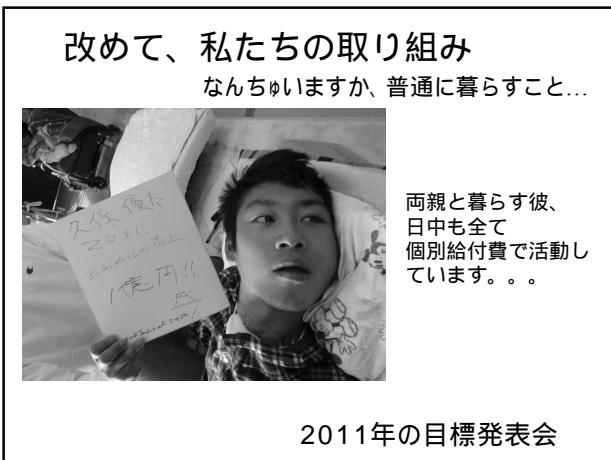
アホですが、  
ほんとに問題・課題は  
山積です。。。  
だけどね、と。。。

超重症児といわれる彼らも

やっばい  
嬉しいです



私くにちば  
おなじみの花束に  
お花を貰うと



おそらく彼の生き方が・・・

就労だとか介護とかではなくっての・・・

生き方の選び方。。。。

制度に合わせるとかではなく・・・  
「自分らしく」とかって、よく言うけれど・・・

**個別化対応が生き出すもの**  
おそらく生活に即していると思う  
ご本人主体とはそういうこと  
制度や職種で切り分けられない  
そこから様々なことが生まれる  
支援者と共にの相互主体の確立  
ご本人さんの存在価値の明確化

2011年の目標発表会



「ふつう」ってなんやねん??  
なんですが・・・

ふつーに考えていくこと・・・  
なのかな?と  
…訳解らず??

初詣・・・「吉」でした

1/13 おたんじょうびかい

ワッフルを  
作っているそーです。。  
なんか寝てますが・・・

7~8年前、彼女の母は「生まれてこの方、2時間と離れたこと  
がない」等と言ってました。。。

彼女らに導かれる私ら・・・

2010年のクリスマス会

超重症児などと  
いわれる彼らたちの  
普通って・・・

息すること、生きる  
ことの意味とか、  
彼らの「力」、  
「はたらき」だとか

サンタのおばちゃん

彼らの力にぜんぜん追いついてない  
福祉・医療・地域・社会

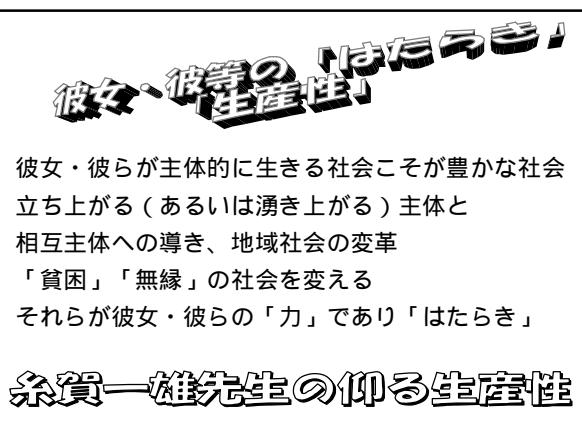
2010年のクリスマス会



彼女・彼等の「力」「はたらき」を  
なんちゅいますか、の医療ニーズの高い方たち・・・

2010年のクリスマス会

彼女・彼等こそを  
しっかりと・・・ 彼女・彼等こそが・・・  
・・・と言うよりも 置き去りだとか  
ほっとかれる存在ではなくっての  
間違いなく在る彼女・彼等の存在価値



2011年初詣



なんか特別なように  
見えるとすれば・・・



2010年  
鴻池夏まつり

こうのいけスペースにて  
2010年9月に新拠点オープン

あたりまえに  
集える場所であること  
ちゃんと交える人がいること

ご自宅にて

場所がどうでも、  
つきあうこと・・・



USJにて  
ほんでから、  
あたりまえに、  
お楽しみ・・・  
彼等にとって、  
私たちにとっての  
「命」だとか  
「時間」だとか

おでかけ 山歩き倶楽部



ふつーに趣味の・

六甲山最高峰!!!!

こうのいけスペースにて

彼女・彼等の・・・と言えるスペースに  
それはきっと広さや大きさや位置だとかではなくって・・・

みんなでお出かけ



神戸フルーツフラワーパーク

しえあーど こうのいけスペース



**新・こうのいけスペース**  
 みんなが使いやすいように  
 みんなで設計  
 勉強面積374m<sup>2</sup> 約113坪  
**自己資金約1,500万円**  
**尼崎信用金庫から6,500万円の融資**  
 彼女・彼等の介護給付によるモノ





ゆとりです・・・  
贅沢です・・・  
素振りもできます



なんで、こんなん作るのか・・・  
はっきり言って、道楽的なつくり・・・  
如何に美味しくビールを呑むのか?  
が、その理由・・・

それこそ、誰かにある宿題を  
頼したい（してほしい）が故の・・・だったり  
有限会社だからできるのか？

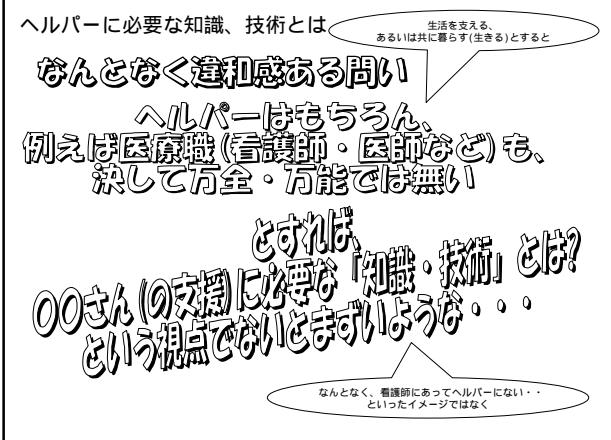
今、まさに行なわれようとしている  
社会保障と税制一体の改革  
社会保障改革に関する集中検討会議  
障害者基本法推進会議・総合協議会等で  
行われている議論と現実の方向性の乖離  
障害者基本法の行方  
私たちが見失ってはいけないものは

#### 支援に係る課題と連携

重度だとかお金だとかはそんなに大きな問題では無い  
例えば、医療との連携/緊急時・・・  
例えば資金・財力・・・  
やっぱり「人」  
量としての「人」  
思想としての「人」  
それと、間違いなく在る筈の人の  
「存在価値」

何が言いたい?  
例えば・・・  
ケアホーム等で「一緒に暮らそう!」  
・・・なんて言うけれど、。。  
そう思うと・・・  
「地域生活を支えるために」って?  
ほんとに支えるの?支えられるの?  
今日の研修会で  
色々なことを感じられればと思ってます

\*他人事ではない気持ちを・・・  
べたな言い方ですが・・・  
ケースワーク?ソーシャルワーク?相談支援?って・・・  
そもそも「サービス」だと「支援」って何????  
根本的な思想?(発想)の違い??  
だけども、これがけっこうな少数派だったりで・・・  
だけども、の、  
それが本当の「福祉」だと「人の心」じゃないかしら?  
「共に」と考えた際に、これだけ制度の壁があったりするシステムは変えられませんか?



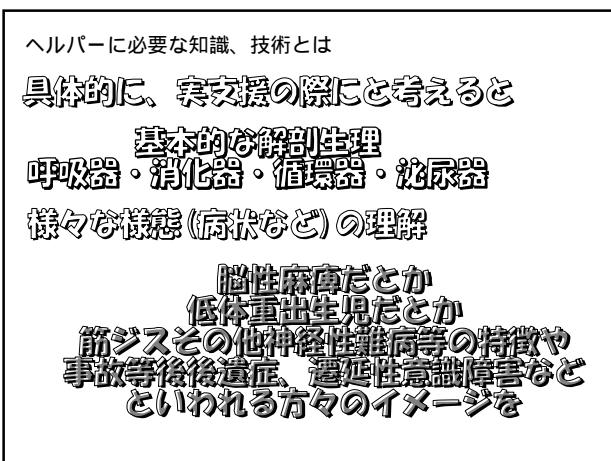
ヘルパーに必要な知識、技術とは

そのうえで、  
育成プログラム開発という視点で言うと  
医療依存度の高い方への  
支援内容(医療的ケア)の持つ  
医療的・法律的意味の理解は必要須??

そこには、今既に行われてきた結論の内容にあるよう  
「ケア」なっての議論では、冒頭の〇〇さんへの支援(この方の暮らし)には  
成立しないからこの辺は指摘すべきかと思われます

目標ところは、  
あるケアができる支援者育成ではなく、  
まるごと、その「人」と共に時を過ごせる支援者の育成

間違ってるかも？？

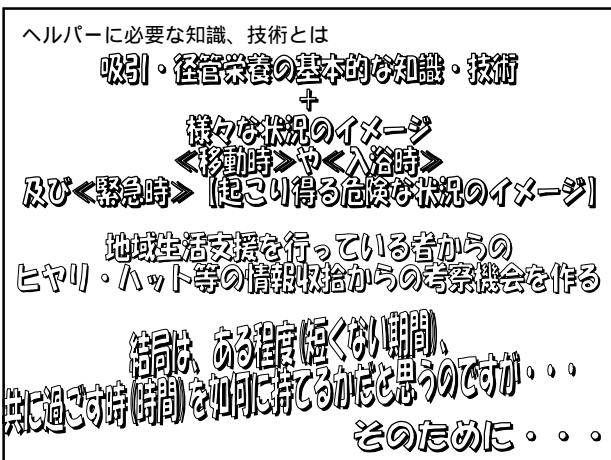


ヘルパーに必要な知識、技術とは

もしかしたら、知識以上に、  
「意識」が、先ずは必要ひのかも…??

医療モニル(のみ)に陥らない為の  
意識・知識が必須要かも…??

在宅医療とか  
療養生活とかではない、  
生活(暮らし)支援、もう少し言うと、  
共に生きたい(関わる)あるいはいう意識  
それをベースに考えることが  
大切なように思えます



どういうヘルパーを養成すべきか、到達目標の設定

すはり、主たる介護者にとって代われる支援者

にとって代われる部分や場面は段階的で良い  
例えば、在宅での食事(多くは在管栄養)時の見守り(留守番)

例えば、在宅での入浴介助…。  
それは「ひとりで」ではなく、まず「ひとり(複数)で」から

障害福祉サービスには複数名介護があり、  
更に訪問看護との併用(共同)による  
支援機会の積み重ね及び往復こそが必要

を言っても、  
最初は毎の手を預ねる

テキストと講習（実技を含む）のプログラム作成スケジュールの検討

物の宿で訓練宿泊するのである。テキストと講習は  
本で見るに思われる問題、ひいてはせんたく問題が組み込まれる。  
**大胆かも？（いかが無茶な発想？）で可か？**  
実支援をプログラムに組み入れなければ困難  
おそらく実験している事業所は  
そういう取り組みを行なっている  
このあたり、  
「**規制（既成）の制約に捉われない実践道筋を目指す**」に期待